

創意開発技術賞	PC 構造物の現有応力を測定するスリット応力解放法の開発
技術開発者	佐賀大学大学院 氏名：伊藤 幸広



受賞にあたって

この度は、栄誉ある国土技術開発賞、創意開発技術賞を賜り大変光栄に存じます。本技術の着想から開発、実用化に至るまでの長い道程の中で、(株)計測リサーチコンサルタント並びに(株)K&T こんさるたんとの社員の皆様の弛まないご努力と情熱、また、手探りの状態より共同で技術開発を始めた長崎大学松田浩教授、出水享博士、福岡県工業技術センター内野正和博士および宮崎大学（元長崎大学）森田千尋教授からのご指導およびご尽力、さらに、寝食を共にし装置の作製や実験にご助力頂いた佐賀大学当時卒研究生の皆様の汗、これら全ての方々のチームワークの結晶が栄誉ある賞の受賞として実を結んだことを心より喜び、皆様に深く御礼申し上げます。

開発した PC 構造物の現有応力を測定する新技術は、従来法に対し測定精度が高く、躯体に与えるダメージが少ないといった多くの長所を持ち、国・自治体が進める橋梁を中心とした道路ネットワークの安全性の確保に貢献でき、予防保全に基づくインフラのライフサイクルコストの縮減に寄与するものと確信しております。

受賞後の動き

本技術の海外展開を図るために、平成 27 年 11 月には FHWA（米国連邦道路庁）のワシントン本部において、技術説明およびデモンストレーションを行っており、今後、欧米を中心として維持管理技術の輸出を計画しています。また、本技術が 1 方向の応力を測定する方法であるのに対して、全方向の応力を簡易に測定できる新測定技術の開発に着手し、RC 構造物を含めた全てのインフラ構造物の長寿命化に資する技術の確立を目指しています。

